

ち いき せい そう 地域清掃

さくせいしゃ たなか ひでき
— 作成者 田中秀樹



10月2日、支援センター、ジョイフル東ノ口、ジョイフル山ノ下周辺の清掃活動を行いました。

きれいな街並みでも、探してみると意外にゴミが落ちているもので、吸い殻にマスク、家電など沢山の量を回収しました。地域住民の方々からも声をかけていただいて交流を持つことができ、非常に有意義な時間となりました。

～横断幕について～

5月に予定していた清掃活動がコロナウィルスの影響で中止となりました。違った形で地域と交流が出来ないかと考え、横断幕を作成しました。「一人の笑顔がみんなの笑顔に」というメッセージと、スタッフとグループホームのメンバーさんで作ったメッセージ入りの布を張り合わせた横断幕が出来上がりました。

こーで いねー たー コーディネーター からのお願い

さくせいしゃ おかもと たかこ
— 作成者 岡本 貴子

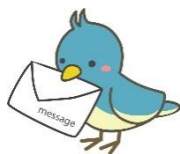
支援依頼決定通知書

が届きましたら、

必ず確認頂きますようお願いいたします。

内容に不備等ありましたら

支援センターまで必ず連絡をお願いします。



センターメールアドレス
shiencenter@himawari.rien.net

たん き にゆうしょ 短期入所より

さくせいしゃ きたい りょうた
— 作成者 北井 亮汰

9月に久貝雄一郎職員、10月に西口和宏職員が入職しました。よろしくお願ひ致します。



くがいゆういちろう
久貝雄一郎

はじめまして、9月から働かせてもらっています久貝雄一郎と申します。

まだまだ不慣れなこともありますが、しっかり学んで支援を行いたいと思います。よろしくお願ひ致します。



にしぐちかずひろ
西口和宏

はじめまして。10月から勤務させていただいている、西口和宏と申します。まだまだ、わからないことが多くありますが、少しずつ成長し、支援に繋がっていきたく思います。よろしくお願ひ致します。

水害対策として、土嚢の置き方の勉強をしました。ただ、置いたら良いだけではなく、横に置き隙間ができないように、ピラミッド状に置くのが最適だと学びました。自然災害はいつおこるかわかりません。すぐに対応できるように、今後も訓練を実施していきたいと思っています。



事務からのお願い

— 作成者 黒島 明子

・短期入所・日中一時を
ご利用の際は、必ず
受給者証を持参くださ
い。また、受給者証が
更新されましたらご提出
をお願いします。

短期入所からの お願い

— 作成者 田中 秀樹

・短期入所や日中一時を
利用の際は、所持品や
衣類などに記名頂きます
ようお願い致します。



【基本理念】

我々は、『共生』を基本理念とします。

すべての利用者とその家族が、
地域の中でいきいきと生活することを願ひ
地域とともに『共生』を目指します。



社会福祉法人
向陵会



ホームページはこちら

サポステより

— 作成者 大久保 康成



すでに報道されていますように、9月末で緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が解除
されました。この間ガイドヘルプで公共交通機関を利用しない判断をしたことで、感染のリスク
軽減にはなりましたが、外出を楽しむという本来の目的にはなかなか添えずご不便をおかけし
ました。今後は電車やバスなどの利用もしていただけるようにはなりますが、これまで以上に
感染防止に力を入れる必要を感じています。また、マスクをすることが苦手な方の感染予防
や、マスクが出来ないことを一般の方に分かっていたいただける工夫もさらに進めていきたいと考
えています。制約があるなかでも、楽しんでもらえるようにしていきたいと思っております。行きたい
所をご希望して頂けると幸いです。担当までお知らせください。

グループホームより

— 作成者 内田 圭彦

ジョイフル東ノ口ですが、「京都府福祉のまちづくり条例」に沿った改装工 事を行いました。
1 1月以降、準備が整いましたらジョイフル神足と同様に、短期入所事業を併設する運び
となります。女性のみの利用となります。

— 作成者 河原 絵理

利用者の将来に向けた準備として、経験や
マンパワーを増やしていただくために、短期入所を
はじめ様々なサービスや事業所をご利用されること
をお勧めしています。サービスが十分に利用できる
状況ではなく、ご不便をおかけしておりますが、
グループホーム事業をはじめ必要なサービスが
利用者に届くよう法人として取り組み続けていきます。



・点字ブロックを
設置しました。



・引き戸にも取っ手が
設置されています。

編集後記

— 作成者 北井 亮太

暑い季節も終わり、今年も残り僅かと思う日々
です。昨年、延期になったオリンピックも無観客での
開催となりました。利用者さんもテレビを見て、結果を教えて下さったり、
楽しく応援されておられました。コロナウィルスの感染の事もありましたが、
スポーツを通して日本が元気になったのではないかと考えています。

スポーツのように、職員、利用者、保護者の方と連携を大切に今後も
支援センターを作り上げていきたいと思ひます。



